

学校教育目標

「育てよう 輝く未来」

～本気 勇気 根気 大好き追浜小学校～

児童の実態（昨年度の課題）

「聞き手を育てる」ことを意識した研究に対し、相手の話を分かっていながら聞く姿勢は育ってきたといえる。しかし、友達の意見や考えに対する自分との比較はなく、高め合おうとする学習集団作りの形成とまでは行っていない。学年に応じた語彙力の獲得が十分とは言えず、表現豊かな児童の育成に課題が残っている。

追浜小学校 校内研究テーマ

「学び合う 認め合う 高め合う子を目指して」

～国語科～

目指す子どもの姿

【低学年】	【中学年】	【高学年】
「自分の考えを持ち 相手の考えを認める」	「自分の考えを持ち 他者とともに学び合う」	「自分の考えを持ち 他者と比較してよりよい考えを生み出す」
ノートやワークシートに自分の考えを表現することができるようになり、 自分の言葉 で相手に考えを伝えることができる子どもの姿。 友達の考えを、分かっていながら聞く子どもの姿。	課題を解決するために 話し方の工夫を考へながら 、相手に分かりやすく伝えようとする子どもの姿。 他者の意見を聞き、共感したり疑問に思ったことを質問したりすることができる子どもの姿。	課題を解決するために 自分の考えを豊かに表現し 、聞き手の反応を確認しながら伝えようとする子どもの姿。 他者の意見を自分と比較しながら聞き、疑問点や相違点などについて議論し、新たな考えを生み出そうとする子どもの姿。

具体的な手だて

日常の活動	学習指導	調査・環境整備
<p>① 語彙力獲得のための取り組み よりの確な表現力を支えるために、国語科の授業だけでなく、日常的な語彙力の育成を進める。(スピーチ・短日記・家庭学習など)</p> <p>② 教科横断的なカリキュラム・マネジメント 言語能力の更なる育成のために、国語科で得た知識・技能を他教科でも意識的に活用していく。</p> <p>③ 学年に応じた話し方・聞き方の提示 場面を想定した話し方・聞き方の基本や、話型をブロックごとに確立し、自分の考えの形成を支援する。</p>	<p>① 児童どうしが関わり合う授業作り 授業作りまたは単元計画の中で、課題解決のために児童どうしに関わり合いたくなる場面を設定する。</p> <p>② 主体的な学びを引き出す課題作り 学年の実態に応じた単元のゴールや導入の「しかけ」を設定し、児童が主体的に学びに向かおうとする単元計画を進めていく。</p> <p>③ 振り返りを活用した評価の在り方 主体的な学びへつなげるための振り返り活動を行い、指導と評価の一体化を図る。</p>	<p>① 児童の現状を把握する実態調査 児童の、国語科における学びの自覚を確認する調査(アンケート)を年に2回行い、調査結果をもとに今後の教育活動に生かしていく。</p> <p>② 充実した話し合い活動のための諸掲示 ブロックごとに構成された話そう・聞こう シートを掲示し、児童の話し合い活動の充実を図る。</p> <p>③ 学びの「見える化」 児童の「見方・考え方」が高まっていく学習掲示を充実させ、学びのつながりを意識させることで、主体的・対話的な学習活動へとつなげていく。</p> <p>④ 学校図書館の利用 知識を広げたり表現を豊かにしていくための語彙力を育んだりするために、積極的に学校図書館を利用していく。</p>

